

11月の安全運転のポイント 平成20年11月号

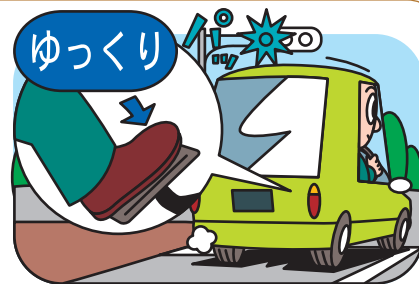
エコ安全ドライブ・10のポイント

エコ安全ドライブは、やさしい発進や定速走行、エンジンブレーキの活用などにより、環境保全や燃費の向上だけでなく、安全運転にもつながります。そこで今回は、エコ安全ドライブのポイントを紹介します。

Point 1 ふんわりアクセル「eスタート」

～やさしい発進を心がけましょう～

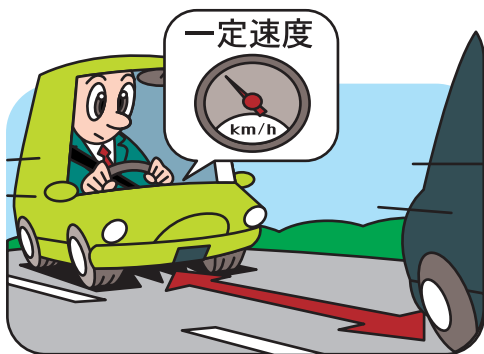
普通の発進より少し緩やかに発進する（最初の5秒で約20キロが目安です）だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕をもって、ゆったりした気分で運転をしましょう。



Point 2 加減速の少ない運転

～車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう～

車間距離に余裕をもつことが大切です。車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。また、同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費がよくなります。交通状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全運転をしましょう。



Point 3 早めのアクセルオフ

～エンジンブレーキを積極的に使いましょう～

エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止されるので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下る時にはエンジンブレーキを活用しましょう。



Point 4 エアコンの使用を控えめに

～車内を冷やし過ぎないようにしましょう～

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。

Point 5 アイドリングストップ

～無用なアイドリングをやめましょう～

待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐車の際にはアイドリングをやめましょう。

Point 6 暖機運転は適切に

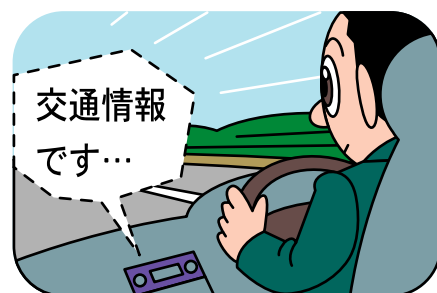
～ エンジンをかけたらすぐ出発しましょう～

現在販売されているガソリン乗用車においては暖機運転は不要です。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖機するウォームアップ走行で充分です。

Point 7 道路交通情報の活用

～ 出かける前に計画・準備して、
渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう～

地図やカーナビ等を利用して、行き先及び走行ルートをおらかじめ計画・準備しましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。



Point 8 タイヤの空気圧をこまめにチェック

～ タイヤの空気圧を適正に保つなど、
確実な点検・整備を実施しましょう～

タイヤの空気圧が適正値より 50k Pa (0.5kg / cm^2) 不足した場合、市街地で 2% 程度、郊外で 4% 程度、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。



Point 9 不要な荷物は積まずに走行

～ 不要な荷物を積まないようにしましょう～

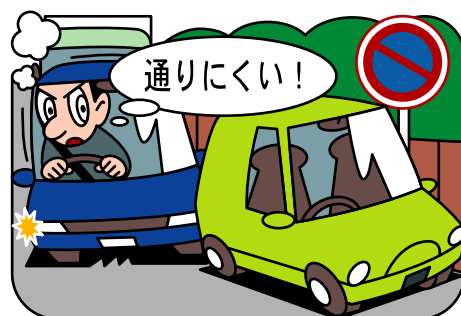
10kgの不要な荷物を乗せて走ると、3%程度燃費が悪化します。運ぶ必要のない荷物は、車から降ろしましょう。



Point 10 駐車場所に注意

～ 渋滞などをまねくことから、違法駐車はやめましょう～

交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。



(出典：エコドライブ普及連絡会のエコドライブ10のすすめ)

「ご相談・お申込先」